

〔A類国語コース、B類国語コース、B類書道コース 対象〕

令和7年度

一般選抜前期

私費外国人

帰国生

国語 解答例

I
問一

a	しゅじゅざった
b	もよお
c	こうげきようじやく
d	そな
e	いやおう
f	網
g	随時
h	(億測でも可) 億測
i	飛躍
j	読過

問二

ア	数ある物事の中でもとりわけ。特に。
イ	他に取るべき方法がなく。やむなく。

問三

A	㊦
B	㊷
C	㊸
D	㊥
E	㊱

問四

作者名 (夏目金之助でも可)	夏目漱石
作品名	例『吾輩は猫である』
	例『坊っちゃん』
	例『こころ』

問五

【採点の眼目】
・問題文の内容をふまえ、音楽との違いを十分に書けているか。
・文章の連接や誤字、表記の丁寧さなど、適切な国語表現が用いられているか。

問六

万人に共通なもの

問七

【採点の眼目】
・問題文の内容をふまえ、文章を読む場合との違いを十分に書けているか。
・文章の連接や誤字、表記の丁寧さなど、適切な国語表現が用いられているか。

問八

思考場面に なるべく近 接情報につ ながろうと する一流れ の力との
新情報を迎え、 意図的に離れ ようとする 一構えの力。

問九

【採点の眼目】
・出題意図を理解して解答できたか。
・出題文を的確に読みとることができていたか。
・出題文の内容を踏まえ、関係性を捉えることができていたか。また、それを文章として示す ことができたか。
・文章の連接や誤字、表記の丁寧さなど、適切な国語表現が用いられているか。

〔A類国語コース、B類国語コース、B類書道コース 対象〕

国語 解答例

令和7年度
一般選抜前期 私費外国人 帰国生

Ⅱ 問一

a
つちみかど
b
おぼ

問二

(1) お后候補者
(2) つて
(4) 才覚豊かで

問三

どうかしてこの姫君を自分の妻にしたいと、心底から懸想申されて

問四

の
打消
の
推量
の
過去

問五

三位中将（藤原道長）と娘の結婚

問六

あるべき事

問七

(7) 左大臣（大臣・殿）
(8) 左大臣（大臣・殿）

問八

母	で	臣	う	い	せ	い
北	一	は	な	が	る	の
の	刻	、	未	、	こ	で
方	も	未	熟	か	と	、
は	早	来	な	と	も	仕
道	く	の	若	い	で	方
長	と	后	者	っ	き	が
を	考	に	と	て	ず	な
高	え	と	結	帝	、	い
く	て	大	婚	も	他	と
評	い	切	さ	皇	に	思
価	る	に	せ	太	有	っ
し	。	す	る	子	力	て
、	一	る	の	も	な	い
結	方	娘	は	若	候	る
婚	、	を	納	く	浦	。
に	父	道	得	て	者	
坐	の	長	で	人	も	
り	左	の	き	内	い	
ゑ	大	よ	な	さ	な	

〔A類国語コース、B類国語コース、B類書道コース 対象〕

国語 解答例

令和7年度
一般選抜前期 私費外国人 帰国生

Ⅲ 問一 a

およそ（「おおよそ」も可）

b

もし

問二

あなた

問三

天、人

問四

吾未だ道に合せざるを恐る。
（「吾未だ道に合はざるを恐る。」も可）

問五

禍や福は行為によってもたらされるとい
うこと。

問六

と	、	自
は	自	分
、	分	の
簡	の	努
明	努	力
で	力	で
実	で	変
行	変	え
し	え	ら
や	ら	れ
す	れ	な
い	る	い
と	こ	こ
い	と	と
う	に	に
こ	力	力
と	を	を
。	注	注
	ぐ	が
	こ	ず